



オホーツク沿岸の古代遺跡群 ～エリアー体が北方古代文化の宝庫～



オホーツク沿岸地域では縄文、続縄文、擦文、オホーツク文化、アイヌ文化まで各時代の遺跡が分布し、遠軽町（旧白滝村）など内陸部では旧石器時代の遺跡が多く見られる。オホーツク沿岸の遺跡は樺太・シベリアなど大陸諸文化との関係が強く認められ、竪穴住居が連綿と残る常呂遺跡、オホーツク文化遺跡として著名なモヨロ貝塚、縄文後期の朱円周提墓などが代表格。また、2011（平成23）年には、白滝遺跡群の石器資料の一部が国の重要文化財に指定されている。